

各種祈願のご案内

皆様の幸せを願って各種祈願を承っております。



初七誕生祭
七五三
初詣
交通安全祈願
厄除祈願
方災祈願
商家繁盛願
身合祈願
体格健全願
など



お子様の成長を祈るトラの置物

※予約制ではございません。
社頭にて直接お申し込み下さい。
祈願料 五千円より

結婚式



古式にのっとった神前結婚式を挙げる事ができます。
境内に敷かれた真紅の絨毯の上を、雅楽の調べの中、巫女に導かれて厳かに神前に向かう「参進の儀」は、お二人の一生の思い出となることでしょう。

祭事・神事

- 節分追儺祭 2月3日**
歳男・歳女の豆撒き奉仕をはじめ、方災消除・家内安全・交通安全等の特別祈願を承っております。
- 御田植祭 4月4日**
境内の敷石を水田に見立て、田植歌を唄いながら一年の農耕儀礼を模倣的に行う祭事であり、埼玉県選定の無形民俗文化財に指定されています。
- 大祓式 6月30日/12月31日**
半年毎の罪や穢れを祓い清めるために、6月と12月の末日に行っています。ご希望の方は社務所までお申し込み下さい。
- 川瀬祭 7月19・20日**
「お祓園」とも呼ばれるこのお祭では、宵宮の「天王柱立神事」と20日の「神輿洗神事」が見所になっています。
- 例祭 12月2・3日(秋父夜祭)**
動く陽明門とも呼ばれる6台の笠鉦・屋台の曳行と豪華な打上花火の競演など、毎年20万人以上の人出が見込まれる例祭は「秋父夜祭」の名で全国に知られています。

交通案内

- ◆電車の場合
秋父鉄道秋父駅より徒歩3分。
西武秋父線西武秋父駅より徒歩15分。
池袋駅より
西武池袋線特急レッドアローを利用の場合、全席指定・乗り換えなし。約80分。
上野駅より
JR高崎線で熊谷へ行き、秋父鉄道に乗り換え。
- ◆お車の場合
関越自動車道 花園I.C.より約30km。
花園I.C.を降り、国道140号線を秋父・三峰方面へ。
皆野寄居バイパスを利用の場合、約50分。
秋父市内に入り、国道299号線と交差する上野町交差点を右折。



知知夫国の一之宮
秩父神社

埼玉県秩父市番場町1番地3号
電話0494-22-0262 FAX0494-24-5596
<http://www.chichibu-jinja.or.jp>

平成二十六年 御鎮座式千壹百年

知知夫国の総鎮守

秩父神社

神垣も新になりて みゆかりの
秩父のさとわ いやよ栄えむ

秩父宮勢津子妃殿下御歌



八意思兼命

政治・学問・工業 開運の祖神

知知夫彦命

知知夫国の初代国造・秩父地方開拓の祖神

天之御中主神

北辰妙見として鎌倉時代に習合した神

秩父宮雍仁親王

先帝昭和天皇の弟宮様、昭和二十八年に合祀

創建

平安初期の典籍『先代旧事紀一國造本紀』によれば、人皇第十代、崇神天皇の御代、知知夫国の初代国造に任ぜられた知知夫彦命が、祖神である八意思兼命をお祀りしたことにより、まります。

社殿

戦国時代の末期に兵火によって焼失したものを、天正二〇年(二五九二年)九月、徳川家康公が大旦那となって、代官である成瀬吉備門に命じて再建されたのが現在の社殿です。
建築様式は、本殿・幣殿・拜殿の三種からなる権現造りで、極彩色に彩られた数多の彫刻群に覆われた豪華な造りとなっており、建造時の棟札と共に埼玉県の重要文化財に指定されています。



秩父夜祭

(国指定重要無形民俗文化財)
京都祇園祭、飛騨高山祭と共に日本三大曳山祭のひとつに数えられ、毎年十二月三日の夜に行われる当神社を代表する祭礼行事です。

川瀬祭

毎年七月十九日、二十日に行われる当神社の夏祭。
二十日の午後には神輿が荒川の清流に入り、悪疫退散を願って神輿洗いの神事が行われます。



北辰の梟

本殿北側の中央に彫刻された「北辰の梟」は、体は南、頭は真北を向いて、思慮深く昼夜を問わずご祭神をお守りしています。



お元氣三猿

日光東照宮では「見える言わざる聞かざる」とされる三猿も、当神社では「よく見てよく聞いてよく話す」元氣な姿で彫刻されています。



つなぎの龍

(伝 左甚五郎作)
名工、左甚五郎が社殿彫刻に施したものと伝えられ、その昔、夜な夜な近くの池に現れたために鎖で繋ぎ止められたという伝説があります。



子宝・子育ての虎

(伝 左甚五郎作)
当時の狩野派の流れを汲んで、母虎があえて豹柄で描かれたこの彫刻は、子育ての大切さを名工が彫刻に込めて表現したものと伝えられています。



秩父神社境内地図

